



NO. 951  
 発行  
 2018年  
 6月29日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 加藤 秀夫  
 編集責任者  
 教 宣 部

# 優勝は大塚さん・直江津

## 地本主催のボウリング大会



地本主催・ボウリング大会が6月23日、新潟市西区・黒埼グランドボウルで開催されました。毎年、地本組織拡大経験交流集会を開催していますが、今回はレクリエーションを通じて親睦を深め組織拡大へ取り組みを進めていこうと企画しました。

**9名の参加**

久しぶりのレクリエーション開催だったせいか参加者が少なく全体で9名の参加でした。



直江津から3名、新潟から6名が参加しました。

### 13時・ゲームスタート

13時に開会、藤井副委員長の開会あいさつ、加藤委員長のあいさつその後、ルール説明など行い、ゲームがスタートしました。

2ゲームのピンのトータルで順位を競います。レーンは3レーンでそれぞれ参加者が3人づつ分かれてスタートしました。

参加者は久しぶりなのか、なかなか調子がでず、ガターやミスなどが続きました。

ど連発していました。



### ハイゲームは大塚さん

14時頃2ゲームが終了し表彰式を行いました。今回は、優勝・2位・3位・ハイゲーム賞・ブービー賞を設定しました。

優勝は直江津・退職者組合の大塚公一さん(134・167)。

## 地本主催ボウリング大会



優勝 大塚 公一

2位 藤井 明人

3位 伊川 多喜夫

ブービー賞  
岡 聡

ハイゲーム賞  
大塚 公一



新潟市中心部でボウリング場を予約するときに、なかなか予約が取れず大変でした。

その時、調べたら、2箇所しかボウリング場が無く、以前、利用していたボウリング場は閉店になっていました。しかし、今、ブームで利用者が増えているようです。

当日は団体など大勢利用客がいきました。



2位が新潟・藤井明人さん(136・139)、3位が直江津・伊川多喜夫さん(99・152)でハイゲーム賞は直江津・大塚公一さん(167)ブービー賞は新潟・岡聡さん(75・78)でした。

久しぶりの試みでレクリエーションを企画しました。参加者が少なかったですが楽しいひとときでした。

次回は、準備を早めに進めて取り組み、多くの組合員が参加できるようにがんばります。



# 北海道の鉄道の再生を考える

ヨーロッパに学ぶ再生の鍵

政府は「公共的サービスの義務」として道路・空港、鉄道サービスを提供しています。

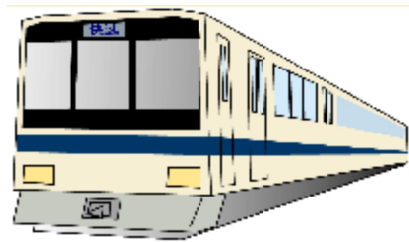
スイス

スイスの面積は北海道の半分、鉄道距離はJR北海道の2倍ありますが鉄道は自動車道路と同じく公共的インフラです。一定時間に必ず列車を走らせ、乗客のサービスを保証しています。



スウェーデン

スウェーデンの一日の平均乗客数(輸送密度)は1540人、北海道は5323人です。政府を中心に責任をもって列車を走らせ、国民の移動の権利・交通権を保証しています。



フランス・ドイツ

自動車税・ガソリン税等を鉄道の維持のために使用しています。

ヨーロッパの鉄道は、道路や民間企業が基本整備を担い、国が維持・走行の責任を持ち、その上、線路の費用や車両の有効活用などと同様に、自治体や民間企業から有効活用しています。

## 第71回地本定期大会



9月22日(土)  
10時開会  
地本事務所



北海道の鉄道の再生と地域の発展をめざす全道連絡会から記載

### 日本でもヨーロッパの制度に学び 抜本的に国が支援を行う 必要があります

## 編集後記



何とか「国鉄新潟」年間30号発行が達成できました。ホットしています。年間30号発行表彰制度について東日本本部は、当時、地本も含めて表彰する制度に変わりました。国鉄新潟は、表彰制度が変わってから、今年まで連続の年間30号発行が達成できました。表彰制度は、ひとつの目標で30号発行は大変難しく困難な場面が多く発生しますが、地本の役員の方々の支えがありました。原稿は、編集担当者が会議、集會大会など出席していれば書けますので記事をまとめられます。出席できないとなかなか記事が集まらず苦戦します。私も今年度で60歳に達します。その後の教言活動をどう次の担当者へ引き継いでいけば良いのか。機関紙編集は、青年部の時にスタートしました。初めは手書きでした。地本の機関紙も以前は手書きで編集していました。今は、パソコンで編集するという当時では考えられない環境に変わってきました。すこいですね